

学校評価表

本年度の重点目標	国家社会の進展に寄与できる実践力に富んだ有徳な人物の育成を目指して、おおらかな徳操、高い知性、健全なる身体、勤労の精神、実行の勇気を涵養し鍛錬する。
本校の目指す教育	1 充実した授業を通して、確かな学力の伸長を図る。 2 生徒の特性を生かす指導に努め、進路実現に意欲的に取り組む態度を育てる。 3 自律的な生活態度を育てるとともに、他者と協働する能力を養う。 4 対外的な広報活動を積極的におこない、本校の良さをPRする。

		自己評価				学校関係者評価		
番号	評価項目	年度当初の状況		年度末の最終評価（3月）		実施日：令和4年7月13日		
		現状・課題	具体的な方策	評価指標	経過・達成状況等	達成度	今後の課題と改善策	学校関係者からの評価等
1	授業	生徒全員の学力を向上させられるよう、またより質が高く、新しい学力観に沿った授業を展開できるよう、教員同士が切磋琢磨する。	授業アンケートを実施し、生徒の目線から授業をとらえ直すことで、各教員が授業のブラッシュアップを図る。 今年度も授業互見期間を設け、お互いの授業を参観する研修機会を設ける。	授業アンケートの数値が改善したか。また各教員が学力向上のための工夫をすることができたか。 多くの教員がこの機会を生かし、自分の授業を振り返る契機としたか。	8割以上の教員が、授業アンケートの結果が5点満点で平均4.0を超える結果となった。 互見期間の参画状況は例年並みだった。	B	プロジェクターの利用など、これまではできなかった形の授業を展開する教員が増えているので、そうした授業を参観し合い、生徒が積極的に参加する授業形態を構築していく。	積極的にICT端末を活用していることは素晴らしい。特に中学校はパワーポイント等を使ってプレゼンテーションをおこなうなど先進的である。公立の中学校でも端末を使った授業が広くおこなわれてきているので、高等学校でも今後より推進していく必要がある。 1・2年生の教室では休み時間にchromebookを使っている姿を見かけるようになった。コロナ禍がICTを推進している面があるように思う。 活動が制限される中でできることを探すという姿勢はとてもよい。今後もそうした姿勢でがんばってほしい。
		教員・生徒ともICTを適切に利用・活用できる力（ICTリテラシー）の向上を図る。	1年生が全員購入したChromebookの活用方法を研究し、ICTリテラシーを向上させられるように日常的に活用する。	Chromebookを、授業や連絡事項の伝達、課題のやり取り等、日常的に活用する機会を設けることができたか。	グーグルクラスルーム等を活用して、連絡や課題の授受等を多くの教員が実行することができた。	A	リモート授業だけでなく、通常の授業でもICT機器を積極的に活用する。	
		新教育課程の効果的な実践に向け、各教科とも精力的に研修と授業準備をおこなう必要がある。	各コースの目標を実現させるのにふさわしい教科書を選定するとともに、指導計画を作成していく。	各コースの特徴を踏まえた目標を立てられたか。またその目標を実現するため、教員間の共通理解と具体的な準備を進めることができたか。	各教科で次年度の指針は概ねたてられたが、新観点別評価については今後更に研修を進める必要があった。	B	新観点別評価について共通理解を深め、共通実践にどのように連結させていくか、探っていく。	
		学習意欲の向上を図りつつ家庭学習時間を増やし、漢字検定・英語検定の合格者数を増加させる。	漢字検定や英語検定の資格取得を推進するため、進学センターと授業の中で検定対策をおこなう。英語検定はIBAを利用し、資格取得への意欲を涵養する。	進学センターと授業の中で検定対策を十分取り入れることができたか。また検定対策プリント等を週末課題として配布し、検定に向けての学習を促すことができたか。	各コースごとに組織的に週末課題等を配布し、学習時間の確保に努めるなど、意識付けをすることができた。	B	今後とも各コースの目的に合わせた週末課題等を課し、学習時間をしっかり確保できるように努めていく。	
2	進路指導	進路目標を早期に具体化し、その実現に向け、生徒が努力できる環境を整える。	進路行事を学期ごとにおこなう。2年生には、3月に第一志望届を提出させる。1年生は総合的な探究の時間を利用して、キャリア教育を推進する。	各学年の進路目標に向け、計画的に進めることができたか。また生徒一人ひとりが明確な進路目標を持つことができたか。	1年生は進路行事や探究活動を通して進路について考えを深めた。2年生は担任指導も奏功し、志望理由等を具体的に書くことができた。	A	自分の実力に合った学校を選択する傾向があるので、生徒の学力向上と同時に進路意欲向上を図り、より一層の高みを目指すように働きかけていく。	公立校で店とタイアップしてお菓子の共同開発をしたところがあった。そうした活動があってもよいと思う。 外部の方を呼んで職業体験等を話してもらうなど、市民と交流する場があってもよいと思う。 整容指導は難しい面もあるが、女子はもう少ししっかりと指導した方がよい。 部活動ではサッカー部や弓道部がすばらしい活躍をみせ、進路指導もがんばっている。 この学校は一人一人の面倒をよく見てくれる学校と認識している。大規模校にはない家庭的な雰囲気は今後も大切にしてほしい。 登下校等の生徒たちの様子について、外部からクレームがくることがあるかもしれないが、例えば黙って静かにスクールバスを待っているということは本来の生徒の姿ではないと思う。先生から少し叱られながら並ぶくらいの方が健全である。従って、外部から何かクレームがきても、極端なもの等については先生方が「フィルター」をかけて、生徒たちが委縮しないようにしてほしい。
		一般選抜で受験する生徒をバックアップし、実力を養成するとともに、最後まであきらめないようきめ細かい進路相談を実施する中で意欲と精神面とを支えていく。	より生徒のニーズに合った進学センターの講習を計画的に実施し、生徒の進路意識を刺激し高め、一般選抜で合格するよう学力向上を支援する。 スコラ手帳を活用し、「時間を意識する」「考える」「書く」「振り返る」を習慣化する。	生徒のニーズに応えられたか。また一般選抜の生徒が最後まであきらめずに講習を受講し続けたか。 毎日、学習の記録を記入することができたか。また日々の振り返りや学習習慣や方法の改善に努めたか。	多くの生徒が最後まで粘り強く、進学センターの講習を利用しながら受験勉強に取り組んだ。 二者面談等でも手帳を利用することで、学習習慣の改善に生かすことができた。	A	一般選抜型で受験する生徒をバックアップすべく講習を充実させると同時に、近年増えている総合型・学校推薦型選抜の生徒への対応も担任と連携をとりつつ丁寧に進めていく。	
		希望進路の実現に向けた進路指導をおこなえるよう、進路に関する情報を的確に収集し、教員間で共有できるようにする。	大学等の説明会に積極的に参加するとともに、教員間の情報交換を密にし、情報の共有化を図る。	説明会に参加することができたか。また共有した情報を、進路指導に生かすことができたか。	オンライン型の説明会を中心に情報収集し、指導に役立てたことができた。	A	今後とも情報収集と担任間の連携を、進路指導部、進学センターを中心に進めていく。	
		内部進学者を増やせるよう、高大連携を積極的におこなっていく。	進路行事に東京成徳大学及び東京成徳短期大学の教授陣に来校してもらう。また1年次に東京成徳大学キャンパス見学会を実施する。	進路行事の際、東京成徳大学・短期大学の説明会に多くの生徒が参加したか。また内部推薦受験者を一定数確保できたか。	東京成徳大学へ7名、東京成徳短期大学へ2名進学した。	B	より多くの生徒に興味をもってもらおう、引き続きキャンパス見学会等を実施する。	
3	生徒指導	頭髪や服装は、校外でもきちんとしてできるよう、引き続き全校での指導を継続する。	毎月1回の全校一斉の頭髪服装確認を継続しておこなっていく。また生徒指導部主任及び学年主任を中心に朝の整容指導も引き続きおこなっていく。	毎月1回の全校一斉の頭髪服装指導や朝の整容指導を1年間をとおしておこなうことができたか。また日常的に指導することができたか。	毎月の頭髪服装指導及び毎朝の整容指導等を継続して実施し、粘り強く指導に努めたが、今後の課題も見えてきた。	B	校内はもちろん、服装や頭髪については、校外でもきちんとしてできるよう、引き続き指導する。	
		SNSの使用方法・マナーについては、今後とも継続的に指導していく必要がある。	スマホ・ケータイ安全教室を実施し、安易なSNSへの書き込みがどのような事態を招くか理解させる。	スマホ等を安全安心なツールとして活用できるよう指導したか。またトラブル発生の際、迅速に対応できたか。	SNSの危険性等については、安全教室や進路指導部等を利用して働きかけることができた。	B	SNS等の利用の仕方については引き続き指導するとともに、トラブルの早期発見を心がける。	
		新型コロナウイルス感染症の拡大、クラスターを起こさないよう、感染対策をしっかりとおこなっていく。	毎日の健康チェックを確実に遂行する。また昼休みに教室の巡視や、保健委員会による呼びかけを継続しておこなっていく。	毎日の健康チェックを生徒が忘れることなく、実施したか。また昼食時など感染につながるような行動を控えることができたか。	担任や養護教諭による粘り強い指導もあり、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐことができた。	A	いわゆるクラスターを極力起こさせない指導を今後とも継続していく。	

達成度 A：達成（100%）、B：概ね達成（75%）、C：達成途中（50%）、D：取り組みを開始（25%）、E：取り組めず（0%）